



書道研究
有根会 本部
〒496-0812
愛知県津島市兼平町1-92-1
TEL・FAX 0567-69-6925
発行 編集部



会長
松下 英風

令和初めての新年を晴れやかで清々しい気持ちで迎えることが出来ました。父芝堂が有根会を設立し、昭和四十六年に第一回展を開催してから、はや五十回となり、一月二十一日から二十六日まで愛知県美術館ギャラリー八階にて第五十回記念有根会書展を開催することが出来ました。東京有根会の先生方にも参加していただき、大作もあり充実した内容の展覧会となりました。

と書いた、書画一体となつた作品、その隣には、今話題になっていいる題字「麒麟」の書、自然と会場の中へ吸い込まれるような、多種多様な作品に、改めて父の偉大さを感じました。二十五日に書初め公募展表彰式もあり、千人をこえる来場者が賑わい盛会裏に終える事が出来ました。祝賀懇話会では、津島市長日比一昭様、津島教育委員長長浅井厚視様（津島市から芝堂の作品をお借りし華を添えることが出来ました）中日新聞社田中玲子様（初日朝一番の取材にて、カラー版で掲載していただきました）東海テレビ放送加藤

昭宏様（初日お昼のニュースに放映していただきました）公益社団法人中部日本書道会の先生方、私と同じく翠軒流を引き継ぐ会の代表の先生方、協賛企業方々と、大勢の御来賓の皆様と御臨席していただき、心温まるご祝辞・激励の御言葉を賜わり大変有難く、胸が熱くなりました。父芝堂の昔からの親友であり、飲み仲間でもあり、色んな事で助けていただいておられます中華料理「龍園」後藤日出男様、後藤義和様、有限会社「菊屋商店」住田真一様にも、御列席いただき拝顔出来て感無量、嬉しく思いました。この有根会を芝堂と私の二代に渡り、共に今まで築いていただいた常任顧問三神榮軒先生・常任顧問亀山富美先生お二人に、心から厚く御礼申し上げます。今後も、ご尽力賜りますように、何卒宜しくお願い申し上げます。次は、六十回記念展を目指し、有根会が益々発展してゆくように、会員のみならずと一丸となって、邁進してまいりますので、よろしくお願ひします。

第五回有根会研修旅行

幸兵衛窯見学と字すき体験

常任理事 堀田廣泉



幸兵衛窯・ギャラリー 見学

令和元年七月二十一日、参加者三十二名。名古屋駅を出発し、道中は山々の濃緑を眺め、多治見の幸兵衛窯に到着。駐車場より徒歩十分位の間には鶯の鳴き声を聞き清々しく英気を養いました。幸兵衛窯では歴代の作品と人間国宝加藤卓男先生の玉作も拝見でき、心の糧になりました。昼食は、日本一の木製水車を通り「きん魚」へ（予約のとれない美味店）。



小原 字すき体験

さあ次は、小原の字すき体験です。2グループに分かれ係りの人の指導により好きな字を指で書くのですが、筆とは違った感触で貴重な体験と共に和紙の製造工程のビデオをみて、手間をかけて作られる紙に一層の愛着を感じ、作品が後日なので楽しみも倍増です。帰りのバスでは恒例のビンゴゲームで盛り上がり、皆様のお蔭で有意義な一日となりました。心より御礼申し上げます。次回も良い企画をと思っております。



日本料理「きん魚」 上品で繊細な創作料理を賞味

有根会五十回記念展を祝す

常任顧問 三神榮軒



光陰矢の如しともうしますが、はや五十年の歳月が流れました。

卒寿をむかえた私が、かつて経験したことのない立派な、はなやかな楽しい祝賀会が開かれ、開会の辞を述べさせて頂きました御縁に感謝申し上げます。

公私ともご繁忙中の日比一昭津島市長さん、教育長さん、地元書壇の代表の先生方、有根の会員の皆様方多数ご出席を頂き、重ねて御礼申し上げます。

人生百年の時代と云われる今日、生涯現役を貫く精神で、書道文化の興隆に努力せねばなりません。

二度とない人生だから本当に生かさなかつたら生きてきた甲斐がないじゃないか、仏天の冥護を信じ努力精進致す覚悟です。

松下芝堂回顧展に寄せる

常任顧問 亀山富美



回顧展は、有根会書展五十回記念展の節目に、愛知県美術館十二階アートスペースに展覧され、部屋の左壁面は全部窓で屋上庭園を一望し、高い空の向こうに遠山も映る。

まっ白な壁面三面に屏風仕立てで御所車の絵、大作をはじめとして額六点、軸四点、色紙書四点絵四点がゆつたり配置され、先生の作品の礎となった臨書折帖

(伊都内親王願文一六六)も陳列され、若き頃の師の研鑽ぶりを窺わせる。先生の写真は、三河三谷、芝堂書庵のきわのお宮さんでカメラマンが撮影されたもの、ダンディな芝堂先生です。

師が往きてはや十一年、芝堂先生の書への一途なおもいが作品から醸し出されていて胸がこみあげる。おごそかで静かな会場で弟子は何を感じたのか、このすばらしい芸術の一端を担う心を育んで頂ける様、切に念じパンを置く。

第五十回記念有根会書展に寄せて

東京有根会会長 吉田景堂



第五十回有根会書展に伺った。会員の皆様の百花繚乱の華やかな作品の中、芝堂先生の玉作を前に暫し佇み、若い頃、稽古に通った日々が走馬灯のように去来した。初めて行った津島神社参集所では、暑い最中先輩諸兄が一心不乱に汗に塗れ猛習されていた。四十五年も前のことだ。

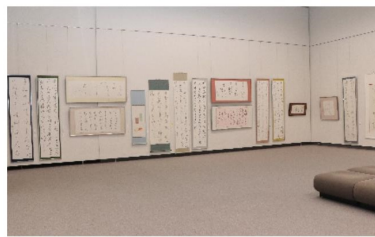
懐かしい白沙、幽石両先生の姿も目に浮かんた。そして松下芝堂回顧展を観る。「芝堂先生は翠軒先生の法を守り、その書を継ぐ貴重な人」と心象先生も仰っている。宇宙に燦然と輝く書線の光とその澄んだひびき(韻)こそ芝堂書の真骨頂であろう。

圧巻の筆の魔力と存在感であった。この偉大な書人に永く学べたことを私は誇りに思う。そしてその教えを記憶の彼方に尋ねながら今後も励んで行きたい。

幸い有根会は会長として御曹子の松下英風先生が高い見識と優れたリーダーシップを以って書道界に名を馳せご活躍なさって本会を牽引されている。大いにこれからも芝堂芸術を根幹(有根)として英風先生のご指導の下、有根会が益々末長くご発展されますよう門人一同心より願っております。光栄にも東京有根会より吉田、川名、遠藤の三門人も作品を添えさせていただきました。誠に有難うございました。



第36回 公募展



第50回記念有根会書展 愛知県美術館 ギャラリー8階H・I室

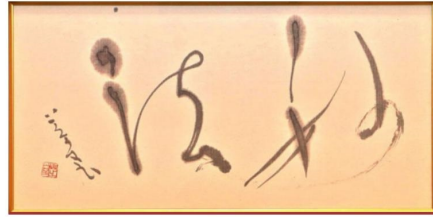


松下芝堂 回顧展 愛知県芸術文化センター12階アートスペースG室

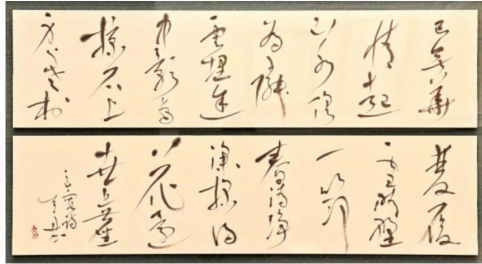
第50回記念 有根会書展 役員作品



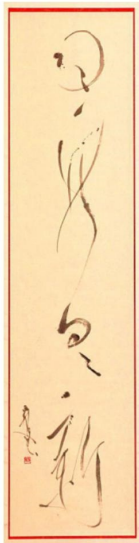
良縁 常任顧問 三神榮軒 半切 1/2



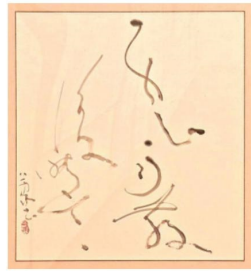
妙法 特別出品 故 松下芝堂先生 半切 1/2



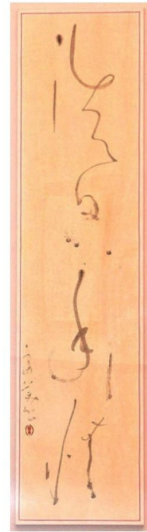
良寛詩 副会長 加藤矢舟 半切×2



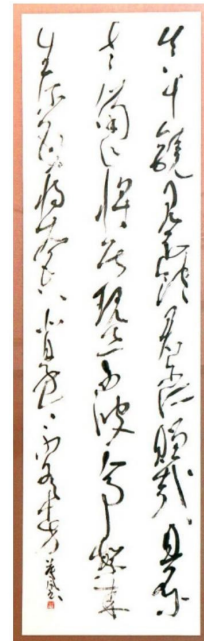
日新日日新 副会長 古川昇史 2×6



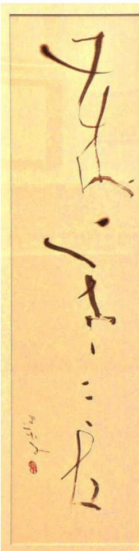
雲雨 副理事長 天見芳泉 3×3



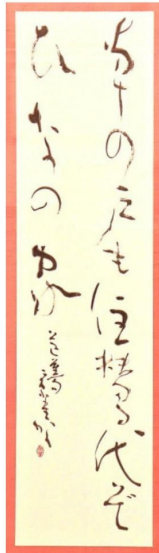
浩思幽情 常任顧問 龜山富美 半切



萬葉歌 会長 松下英風 2×8



歳寒三友 東京有根会 理事長 川名思孝 半切



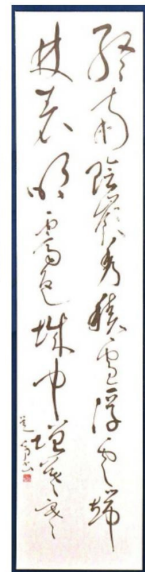
芭蕉の句 東京有根会 会長 吉田景堂 半切



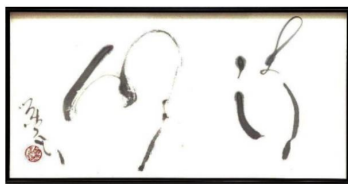
静中動 副理事長 永谷恵子 3×12



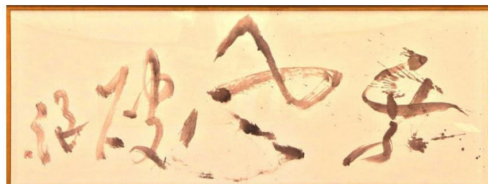
万葉の歌 副理事長 亀畑明曠 半切 1/2 他3枚



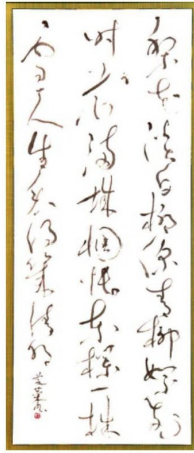
終南望餘雪 理事長 古川芝芳 2×8



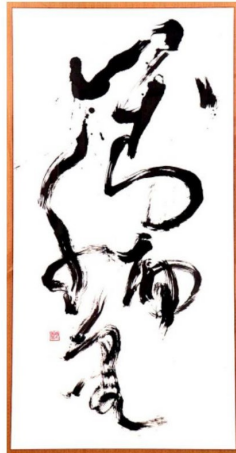
清明 東京有根会 副理事長 遠藤栄久 半切 1/2



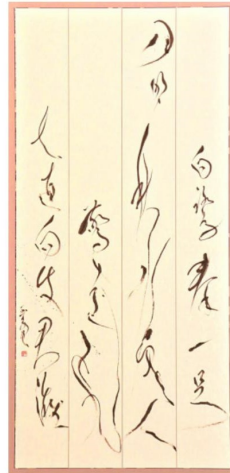
乘风破浪 副理事長 本間翠眉 3×8



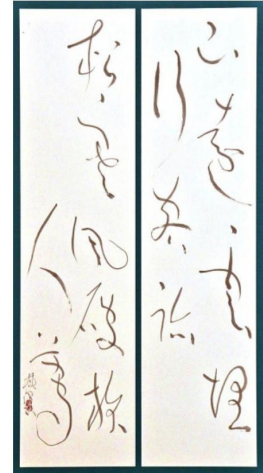
七言絶句
常任理事 中尾芝菜 3×6



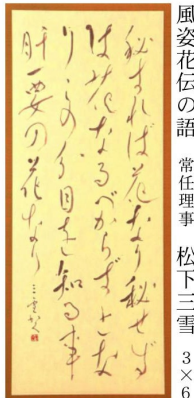
對面千里
常任理事 黒野之香 3×6



白鷺
常任理事 落合玉泉 4×8



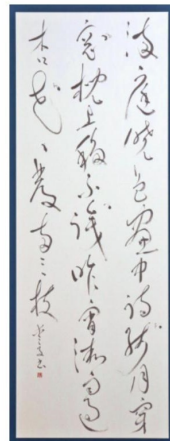
七言二句
常任理事 秋田桃泉 半切×2



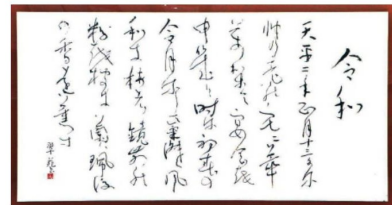
風姿花伝の語
常任理事 松下三雪 3×6



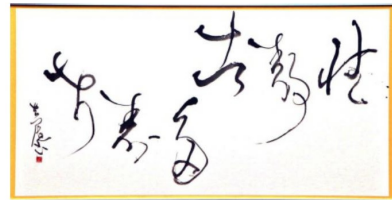
梅花
常任理事 杉浦仁美 全紙



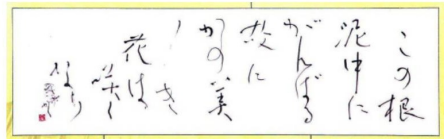
春暁
監事 岡田愛子 3×8



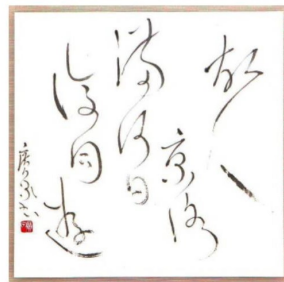
令和
常任理事 庄田翠苑 3×6



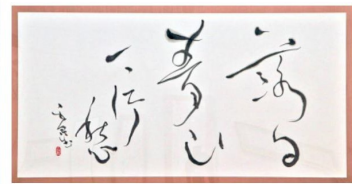
春
常任理事 藤村真徳 3×6



武者小路実篤の詩
常任理事 林 翠葉 3×6



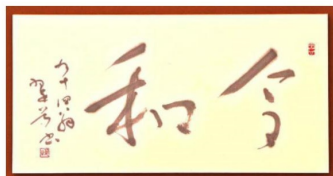
故人京洛満
常任理事 堀田廣泉 全紙 1/2



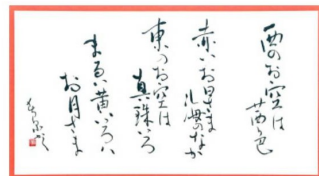
俳體雪香亭雜詠
常任理事 村上雪山 全紙



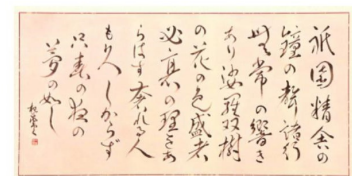
ほのぼのと
監事 加藤香雪 2×6



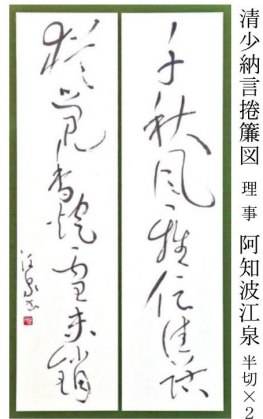
令和 参与 加藤翠谷 半切 1/2



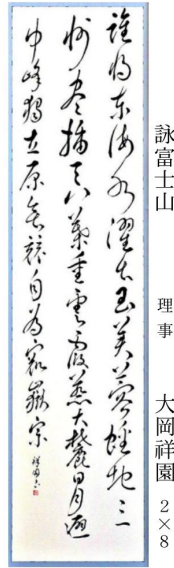
西のお空は茜色
理事 渡部春泉 全紙



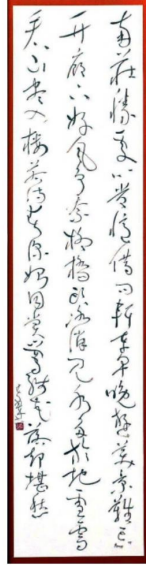
平家物語
理事 川松杷泉 全紙



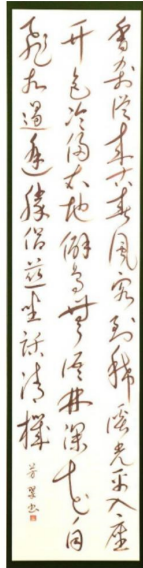
清少納言捲簾図 理事 阿知波江泉 半切 x 2



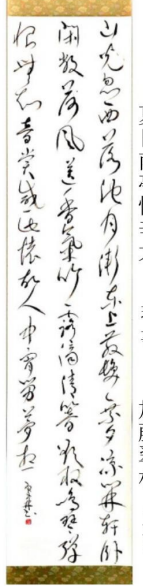
詠富士山 理事 大岡祥園 2 x 8



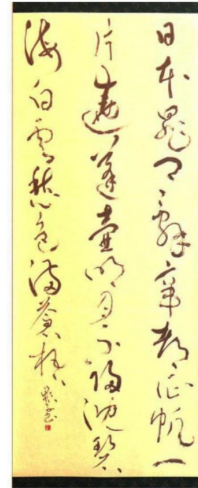
七言律詩 理事 奥村春翠 2 x 8



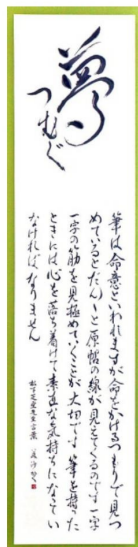
李天植詩 理事 粕谷芳翠 2 x 8



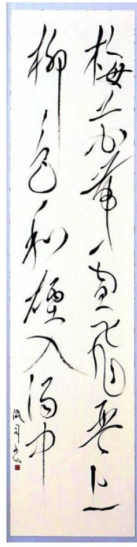
夏日南亭懷辛大 理事 加藤翠林 2 x 8



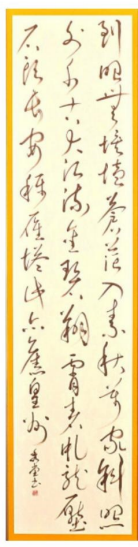
哭晁卿衡 理事 小林雅子 3 x 6



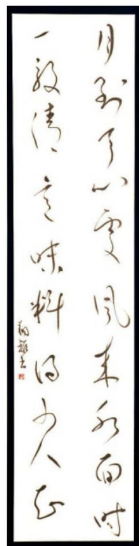
夢つむぐ 理事 夏目美沙 2 x 8



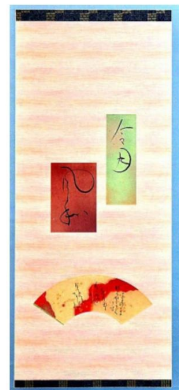
梅 理事 古川侃司 2 x 8



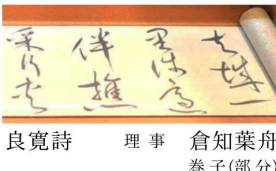
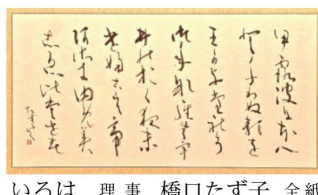
黄之雋詩 理事 藤井秀堂 2 x 8



清夜の吟 理事 遠山翔雅 2 x 8



梅花の歌 理事 西川佳江 半切



いろは 理事 橋口たず子 全紙

第五十回記念有根会書展 入賞者

記念賞

秋田桃泉

芝堂大賞

倉知葉舟

渡部春泉

中日賞

中村智恵子

山田祥子

東海テレビ賞

尾崎美風

藤松浩視

第三十六回公募展入賞者

愛知県知事賞

有根会賞

菊地華水

白井麻美

中日賞

長江美令

寺部靖子

東海テレビ賞

内藤万記子

松井千栄子

秀作

藤堂暁月

水野花露

藤井玲舟

太田奈穂美

松井典子

加藤眞佐子

柄澤信一

神谷芝慶

小川清山

村上和子

本間翠眉

落合玉泉

杉浦仁美

岡田愛子

小林雅子

内山雅舟

富田春風

余台寿風

大野彩

才塚緑泉

林律翠

柳澤孝子

佐伍恵水

鯉江矢雲

篠田友子

藤浪淑子

中條琴舟

三宅春慶

藤原和美

岩田純子

與語綾

北口真琴

西川美清

中條瞳舟

高柳藍玉

大林靖奈

近藤彩月

草木美里

大岩千夏

鈴木好風

佐藤由実

第50回記念 有根会書展 第36回 公募展 表彰式

マリオットアソシアホテル16F



会員展 準大賞 ご受賞のみなさん



会員展 大賞 ご受賞



会員展 第50回記念賞 ご受賞のみなさん



公募展 知事賞 ご受賞



会員展 東海テレビ賞 ご受賞のみなさん



会員展 中日賞 ご受賞のみなさん



公募展 東海テレビ賞ご受賞のみなさん



公募展 中日賞 ご受賞のみなさん



公募展 有根会賞 ご受賞のみなさん



古川昇史副会長 審査講評



公募展 ご入選のみなさん



公募展 秀作 ご受賞のみなさん

第五十回有根会書展 記念賞を受賞して

副理事長 本間翠眉

令和二年一月二十一日(火)レタタ

の通知が届きました。

夢のようでした。

：。次の言葉が私が出

てきた。記念賞を

重みのある記念賞を

いただいたことに感謝

というご賞状をいただきました。

は、異なった叔父(流

た)の所へ幼少時代

姉達と通つた習い

書道教室へそつて

在へと：。して

が今日まで続ける

偏に出、松したは、

の御指導、下して

謝し、お陰と心よ

は、今一回のお作

て、「浪を越え、前

み。前、えつう、

を。薄墨の美しさ、

力を求めて、白と

す。たいし、精進一

ろ。今後と共、進

願。申し上げます。



第七回書初め公募展を終えて

常任理事 村上雪山

令和二年一月二十一日

(火)美術館六階

愛知県美術館(一日)

りて減り、昨年六月

〇点の一七点、力

揃いの生(七)集

東の館に松(下)英

長、校高生(下)査

先生、による七番

結果、協定七、審

品の御決、七、

良、御整、七、

表、彰、式、二、

愛、知、芸、術、五、

に、階、ア、ル、十、

に、終、了、事、務、

で、記、念、式、後、

まで、約、百、名、

ス、イ、様、應、最、

商、店、様、吸、月、

み、ず、の、和、堂、

業、の、有、根、会、

御、申、上、げ、ま、

礼、謝、の、意、を、

第50回記念 有根会書展 第36回 公募展 祝賀懇話会 マリオットアソシアホテル16F



オープニング 名妓連の芸妓さん 舞妓さん 華やかで 艶やかな



祝いの舞を披露



三神榮軒常任顧問へ花束贈呈



松下英風会長 挨拶



三神榮軒常任顧問 開会の挨拶



津島市長 日比一昭様 ご祝辞



菊屋 住田真一様へプレゼント



龍園 後藤日出男様へプレゼント



中部日本書道会 横井宏軒先生 ご祝辞



東海テレビ 加藤昭宏様 ご祝辞



中日新聞 田中玲子様 ご祝辞



和気満々と楽しく歓談



ご来賓ご紹介に注目



津島市教育委員長 浅井厚視様 乾杯ご発声



加藤矢舟副会長 閉会の挨拶



芸妓さん ご来賓を接待



松下会長夫妻 ご来賓を接待



第50回記念有根会書展 記念墨

- ご来賓ご芳名
- 津島市長 日比一昭様
 - 津島市教育委員会 教育長 浅井厚視様
 - 中日新聞社 文化事業部次長 田中玲子様
 - 東海テレビ放送株式会社 事業局セネラルプロデューサー 加藤昭宏様
 - 公益社団法人 中部日本書道会
 - 副理事長 加藤 裕先生
 - 事務局長 横井宏軒先生
 - 企画委員長 大池青岑先生
 - 理事 馬場紀行先生
 - 算水会会長 太田海軒先生
 - 松翠会会長 山川昌泉先生
 - 書翠会会長 石川紫水先生
 - 新鶯会会長 加藤永樵先生
 - 麗筆会会長 森隆城先生
 - 和敬会会長 富田栄楽先生
 - 中華料理龍園 後藤日出男様
 - 後藤義和様
 - (有)菊屋商店 住田真一様

読売入賞入選有根祝賀会

令和元年十一月三十日(土) 龍園本店

読売当番審査員松下英風先生を始め諸先生のおかげで、多くの入賞入選者を輩出。村上評議員の司会で和やかに進行。秀逸4回受賞された夏目美沙さんの謝辞に感動。亀山富美先生のご発声で杯をあげ、美味しい料理に舌鼓しました。卒寿を迎えられる三神榮軒先生から、お話を拝聴し英気を養うことが出来ました。

松下三雪評議員が、奨励賞を受賞され、幹事ご昇格と、嬉しいことが重なり、とても華やいで楽しい祝賀会となりました。



有根会役員

- 常任顧問: 三神 榮軒, 亀山 富美
 - 会長: 松下 英風
 - 副会長: 加藤 矢舟
 - 理事長: 古川 昇史
 - 副理事長: 古川 芝芳, 天見 芳泉, 亀畑 明曠, 永谷 恵子, 本間 翠眉
 - 常任理事: 秋田 桃泉, 黒野 芝香, 杉浦 仁美, 畑 裕子, 藤村 真徳, 松下 三雪, 岡田 愛子
 - 理事: 伊藤 芝山, 大野 昭子, 粕谷 芳翠, 加藤 翠林, 木戸 長山, 小林 雅子, 夏目 美沙, 西脇 昭子, 藤井 秀堂, 山田 千鶴
 - 参事: 阿知 波江泉, 大岡 祥園, 奥村 春翠, 加藤 華泉, 川松 杷泉, 倉知 葉舟, 遠山 翔雅, 西川 佳江, 橋口 たず子, 古川 侃司, 渡部 春泉, 加藤 翠谷
- (令和二年三月現在)

書展入賞者

- ◇第三十六回読売書法展
- 読売奨励賞: 松下三雪
- 秀逸: 岡島暁雲, 夏目美沙, 倉知葉舟
- 会友: 木戸長山, 遠山翔雅, 遠山裕子, 富田春風, 中根翠栄
- 入選: 伊藤祥子, 大野彩, 近藤彩月, 八田節子, 余合寿風, 若山芝春, 中村智恵子, 内山雅舟, 河出長女, 谷順子, 藤井秀堂, 余語春美, 鷺野春翠
- ◇第六十九回中日書道展
- 準大賞: 畑 裕子, 藤井秀堂
- 桜花賞: 大野 彩, 藤井秀堂
- 特選: 粕谷芳翠
- 準特選: 岩田純子, 大岡祥園, 坪井万里子, 内山雅舟, 清水美子, 夏目美沙
- 秀逸: 鷺野春翠, 加藤芳枝, 山田由香, 前野秋豊
- 奨励賞: 伊藤祥子, 谷 順子, 林 律翠, 中村智恵子, 神谷恵舟, 柄澤信一, 余語春美
- 佳作: 河出長女, 柴田律子, 八田節子, 藤松浩視, 山田祥子, 若山芝春

令和二年度事業計画

- ◇四月二十九日(祝・水) 中止
 - ◇三月 総会・作品研究会 豊川稲荷
 - ◇一月十三日(水)〜十七日(日) 第五十一回有根会書展
 - ◇第三十七回公募展
 - ◇第八回書初め公募展
 - ◇一月十六日(土)十時十五分 書初め公募展表彰式
 - ◇一月十七日(日) 有根会書展・公募展
 - ◇研修旅行 企画中
 - ◇ホームページ随時更新中
 - ◇《書道研究 有根会》
- 編集後記
第9号は、第五十回記念有根会書展・芝堂回顧展、津島市長様はじめ多数の御来賓の皆様をお迎えした祝賀懇話会等ページを増やしてお届けします。
玉稿をお寄せいただいた先生方に厚く御礼申し上げます。
第五十回展を、会員一同が結束して成功裡に無事終了。心に残る記念展となりました。これからも益々有根会が発展してゆくように願っています。
編集委員 永谷恵子 大野昭子 加藤翠林 小林雅子